

今回は、「業界を知る本音トークセミナー」
(2025/2/18開催) 公務の現状について
お伝えします

業界の仕組みと特長

国家公務員とは？

公のための仕事に携わる公務員は大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があり、各府省で働く一般の行政官等は一般職の国家公務員に分類されます。

国家公務員の職場って？

国の行政機関は府省庁で構成されており、それぞれの行政分野で国民生活の健全な発展と安心・安全の担保を目指しています。

「デジタル庁」「こども家庭庁」のように時代と共に構成は変更しています。本府省のもと管区機関、県単位機関、県内機関と地方出先機関があります。

国家公務員の仕事とは？

細かい業務や内容は各府省や担当するプロジェクトによりさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前に進めていくのが仕事です。

国民の幸福実現、この国の未来を見据え希望に満ちた社会の構築に貢献することが、各省庁に共通した目標です。

お話しいただいたのは



人事院中国事務局
専門官 藤本 修 様



働き方改革

国家公務員の職場でも「働き方改革」が急速に進んでいます。勤務時間の柔軟化や、残業の時間規制、両立支援制度の活用などにより柔軟な働き方を進めています。

また、ワークライフバランスの実現への取組が管理職の人事評価項目の一つに加えられるなど、幹部職員の意識改革も行っています。

国家公務員と地方公務員の違いは

国家公務員は定年まで一つの組織にいて、その組織の仕事にずっと携わります。その組織のミッションを達成するための「スペシャリスト」となることが求められます。

一方、地方自治体は一つの組織の中で様々な仕事を行っており、部局を異動しながら数多くの仕事を体験します。様々な仕事を遂行することが求められる「ゼネラリスト」と言えます。

「業界を知る本音トークセミナー」とは、事業所の人事担当者より業界のことや求める人物像等を講演していただき、参加者の就活に関する質問に気軽に答えていただくセミナーです。

■ 座談会 ■ 就活に関する質問・採用のポイントなど、講師の方に答えていただきました

Q.面接では何に注目しますか？
ポイントがありますか？

A.公務だから、民間だからとの違いはありません。

官庁訪問では、それぞれの官庁の業務に適しているか、組織の業務に対応できるかを見極めます。

人事院面接では、質問を正確に理解し返答しているか、自身の考えをまとめ自分の言葉で答えることができているかを見ています。責任感や積極性など職員としてうまくやってくれるかを判断します。



Q.官庁訪問について

A.最終合格しただけで自動的にいずれかの府省に採用されるわけではありません。官庁訪問により採用を希望する府省の面接などを受けることが必要です。

志望府省の業務、職務環境等を観察・確認し、就職先として最終的に選択する機会、重要な自己PRの場です。そのためにも説明会に参加し、自分なりに府省について理解を深めることが重要です。

受講生の感想

● 国家公務員の話
を聞く機会が今まで
でなかったのが非常に
勉強になりました。

● 国家公務員の明確なイメージを前よりも持つようになった。国家公務員でも県内勤務があるのと分かり良かったです。

● 転勤の範囲や頻度は府省で異なるということを知ったことに加え、検討している府省の状況が紹介されていたため志望度が少しあがった。

● 官庁訪問が自分の希望する仕事業務を将来確実にする為には重要であると分かった。

● 官庁訪問と第二次試験の目的の違いが分かり、面接対策の参考になる。